

令和6年度第1回鎌ヶ谷市学校給食センター運営委員会会議録

1 開催日時 令和6年7月30日(火) 14時30分から15時20分

2 開催場所 鎌ヶ谷市学校給食センター2階 多目的会議室

3 出席者

(1) 委員:

鈴木智恵委員長、飯田 卓副委員長、田中由佳委員、砂見正子委員、
小川輝雅委員、中山道子委員、服部 歩委員、椎名美緒委員、
加納 寛委員、茂木優菜委員、高橋晶子委員(欠席委員:高橋正彰委員)

(2) 事務局:

大塚生涯学習部長、菅井生涯学習部副参事、桂本給食管理室長、
石田給食管理室主査補、岡田給食管理室栄養士

(3) 傍聴人:なし

4 議題

(1) 令和5年度学校給食センターの運営について

(2) 令和5年度学校給食センターPFI事業モニタリングについて

ア 令和5年度第4四半期モニタリングについて

イ 令和5年度年間モニタリングについて

(3) 令和6年度学校給食センターの運営状況について

5 審議内容

資料に基づき事務局から説明の後、

(田中委員) 令和5年度の実績において、鎌産鎌消献立が増えていると感じるが工夫した点はあるのか。

(事務局) 梨ジャムを使用したありのみ蒸しパン、梨ピューレを使用した鎌ヶ谷産梨ゼリーを開発したことにより、特産物の梨を、年間を通して提供できるようになった。

(田中委員) アレルギー除去食を提供しているが、事故は発生しなかったのか。

(事務局) 令和5年度において、アレルギー除去食を提供している児童、生徒に事故は発生しなかった。

ただ、無自覚の生徒が喫食後に具合が悪くなり、救急搬送された。血液検査の結果、複数のアレルギーが判明したが、学校給食の食材が健康被害をもたらしたとまでは断定できないとの診断であった。

(鈴木委員長) 中学校で献立作成の授業が行われているが内容を伺う。

(椎名委員) 一日分、3食の献立を立案し、その内の1食を実際の学校給食用にアレンジしてから提供した。立案にあたって、ある生徒は将来、栄養士の仕事をしたいと望んでいて、栄養バランスを考えるとところから始めて献立を作成していた。

(小川委員) 学校給食の提供日を増やしてほしい。

(事務局) 各小中学校、食材納入業者、調理現場と調整後、最多の提供日としている。正月明けは、野菜が供給されるまでに時間を要するなど課題は多い。

(高橋委員) 中学生の立案献立を導入した経緯を伺う。

(椎名委員) 中学校の給食主任が学校給食センターの栄養教諭に相談し、関係機関との調整後、栄養教諭が中学校で家庭科の授業を実施した。

(鈴木委員長) 特別欠食制度の廃止について伺う。

(事務局) 特別欠食制度は、食材の購入と給食費の返還が同時に行われ、二重の負担となっていた。新型コロナウイルス感染症対策が落ち着いてきたことから令和6年度1学期をもって廃止した。保護者には、学校を通じてお知らせしている。

以上、会議の経過を記載し、相違ないことを証するため、次に署名する。

令和6年8月5日

署名人 高橋 晶子

署名人 茂木 優菜